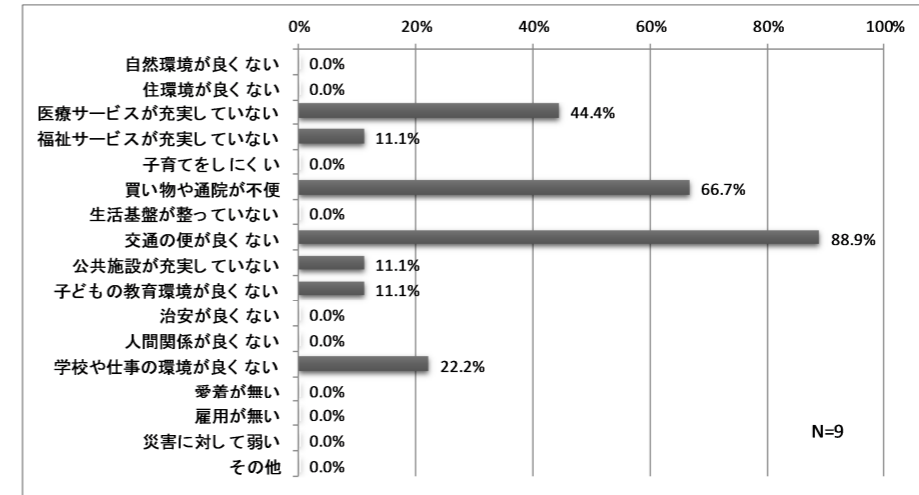
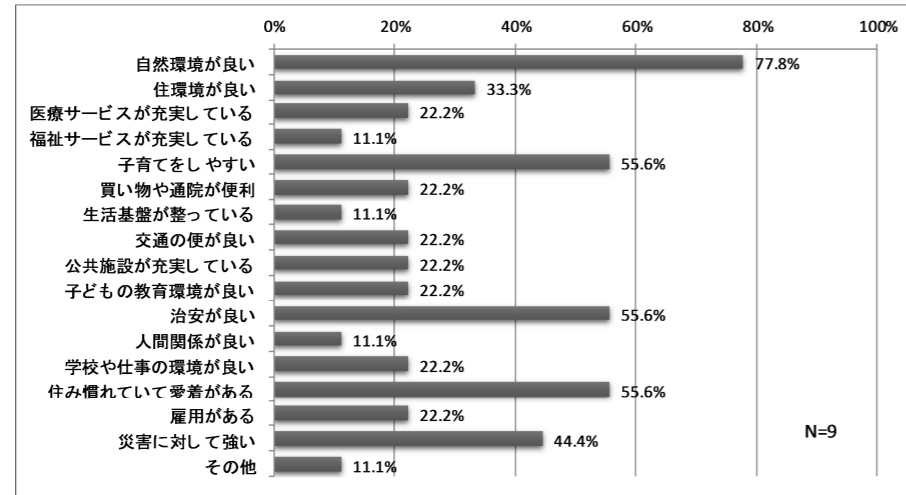


■ 三木みらい会議（三木南地区）アンケート結果の概要（主な意見）

- 1 開催日時：平成31年2月8日（金）19時～20時
- 2 開催場所：三木南交流センター
- 3 参加人数：15人（男性 13人、女性 2人）
※市3人、コンサル1人参加

年齢	40代	50代	60代	70代
人数	5人	2人	4人	4人

① 地域の良さ（複数回答） ② 地域の課題（複数回答）



③ 地域がどのようなまちになれば良いか ④ ③のようなまちになるために、地域で取り組むことが考えられるまちづくり活動 ⑤ その他自由意見

• みんなが毎日暇なく働き、忙しくて、大変ながらも将来に夢をもって生活し、自分も周囲の人もみんなそれぞれに気配りしながら一体感を持っているまち

• 自分が死ぬまで安心して暮らせる地域

• 縦割り行政の中では仕方がないかもしれませんが、三木市の規模だからできる、横の繋がりを持った総合的な将来計画が見えてくるともっと魅力的なまちになると、一市民として思います。

• 交通の便が良くなればよい。

• 地域がひとつの「寮」で暮らしているようなまちを作る。

① 学び・働き・遊び すべてに全力で取り組む。

② 「寮」に帰ってきたら食事があって、風呂が沸いていて、寝るだけ。

• 自治会館の活用（誰でもフリーに、いつまでも）。軽食、音楽、談話など。管理方法のルール作り

• 少子高齢化＋核家族化で、細切れになった地域をまとめる・つなげることが必要

• 昭和の頃のように、昼間はおのおの仕事・学校で、全力で頑張っ、家（寮）に戻ってくる。人と人との隙間をなくす。近所の目がある生活で、DV やいじめ、虐待の無い地域を作る。安心安全なまちづくり

• 行政の規制、制限は分かりませんが、市が商売にもっと注力する。

• 加工食品、特産品の販売、税収に頼る割合を減らす（他県、海外へ輸出。市が直接会社、農家を支援）

• 企業の誘致をして、税収を増やす。

• 新興住宅地、物流倉庫、工場を誘致する。小野は工場が多く、人が増えて、学校や病院、小売店ができています。

• 三木市は子育てキャラバンやおしゃべりサロン、各公民館での乳幼児教室など職員の方が中心となって他のお母さん方との交流することもある。三木に知り合いのいない私にとってはとても心強いものでした。ですが、その良かったものも、昨今の幼保一体化計画のために参加者が激減し、寂しい気持ちになりました。幼稚園、保育園にしても今まではライフスタイルに合わせて選択できていたものが選択できなくなってしまいました。

• 幼保一体化計画を広く考えるのであれば、その垣根を取り払い、注意の必要な乳児は現在の私立施設、活発になってきた年中・年長児は公立の園庭の広い施設で、といった広い視野での幼保一体化計画を望んでいます。

• 新しい施設を建設するだけでなく、既存の施設を最大限に利用できる広い視野を持った今後の取組を願っています。

• 通学道路の整備

- ごみのポイ捨てが無くなれば良いと思います。
- 確かに、ハード面の整備や充実私たちの生活をより良いものにしていくかもしれません。ですが、その整備を将来的に生かすにつけることが出来なければ、三木の魅力や、三木に住んで良かったというソフト面の充実にはつながらないのではないのでしょうか。
- 三木には三木にしかないものがたくさんあると多いです。ですが、それらのすべてのものが繋がりを持つことが無く、ひとつの施設として完結されているような気がしています。
- 三木市民が三木市に求めているものは何だと思いますか？神戸から三木に引っ越してきて、良いなと思ったところは子育てがしやすいところです。神戸の児童館はおもちゃが置いてあるだけで職員の方との交流も最後の少しだけでした。